

『潤いのある暮らし』を目指したい・・・ だからこそ始めるコツコツ投資！

日興アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト 神山 直樹



健康寿命が世界一の長寿社会を迎え、人生100年時代と言われる日本。長生きリスク*といった言葉も耳にするようになりました。そこで、素敵な『潤いのある暮らし』を目指していただくよう、「投資ってなんだ!?!」では、上手にお金に働いてもらう方法や投資の不安を解消するためのヒントなどを、いろいろな切り口で紹介していきます。みなさまの資産運用の一助になれば幸いです。

*長生きすることによって貯蓄を使い果たしてしまうこと

■ 『潤いのある暮らし』を目指すために・・・

ここで言う『潤いのある暮らし』とは、直感的に言えば、歳をとって孫にお小遣いをあげるとか、旅行も東京から熱海ではなく九州に行ってみようとか、すこし違ったことができる暮らしの元手（お金）を指します。“潤い”のある・なしで言えば、最低限必要な生活費は潤いのない部分で、少し遠くまで旅行できることが潤いの部分、といったイメージでしょうか。

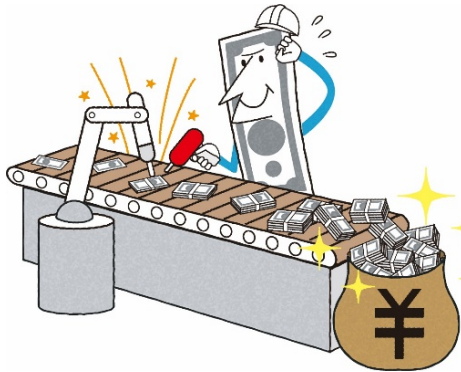
では、“潤いのある暮らし”を目指すためには、どういった行動を取ればよいのでしょうか。その答えは、少額からでも投資をはじめておくことだと思います。

もちろん投資にリスク（振れ幅）はありますが、上手に付き合うことができれば、それに見合ったリターン（収益）が期待できますし、“潤い”のための備えにもなるのです。



■ お金に働いてもらおう！

人は、何もしないでじっとしては何も起こりません。もちろん、じっとして良かったということもありますが、何か行動を起こせば大きなチャンスを手にするができるものです。お金に関しても同じことがいえます。お金を活用せずに貯める、別の表現をすれば“お金を寝かす”だけでは、増えないどころか出費だけで減っていくかもしれません。もし“お金に働いてもらう”ことができれば、経済成長とともに増える可能性だってあるのです。



この“お金に働いてもらう”ことが投資です。長く持つ（長期投資）、複数の資産に振り分ける（分散投資）、世代別に投資方法を変えるなど、ひと手間かけるだけで、理想とする“潤いのある暮らし”にグッと近づいていくかもしれないのです。

“お金を寝かす”部分はもちろん必要ですが、ひと手間かけて、少額からでも“お金に働いてもらう”ことでメリットをもたらすんだということを、「投資って何だ!?!」で感じていただければ幸いです。

●当資料は、日興アセットマネジメントが投資についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。●投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。●当資料の図表等はすべて過去のものであり、将来の市況環境の変動等を約束するものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また記載内容の正確性を保証するものでもありません。